



こいけまさあき 千葉県議会レポート

発行 / 自由民主党千葉県議会議員会

〒260-0855 千葉市中央区市場町2番13号 電話043(227)7411

「成田」の地位を低下させるな!

「羽田」の国際線増枠で

成田空港の機能強化前向きに

成田市選出で自民党3期目の小池正昭(こいけ・まさあき)県議は、9月定例県議会で4月の改選後初めて的一般質問に登壇しました。懸案の成田空港の機能強化に向けた質疑では、「空港の発展なくして、地元

の発展なし」との思いで、住民が多大な犠牲を払っている実情を訴えました。また、児童虐待防止対策では、附帯決議案の趣旨説明のため本会議場に登壇し、県執行部による児童虐待防止対策のさらなる充実・強化を求めました。附帯決議案は討論の結果、賛成多数で採択されました。



空港問題を熱く語る小池県議

9月定例議会一般質問に登壇

小池議員 近年、羽田空港の国際線が増枠されるたびに、路線が羽田に移ってしまう、いわゆる「羽田シフト」によって大きな影響を受けてきました。今後も成田空港がわが国の国際線の基幹空港としての地位をいかに維持していくのか、危機感と問題意識を持って、成田空港の発展に向けた行動をしていくべきです。そこで伺います。

羽田空港の国際線3・9万回増枠に伴う成田空港及び本県政策への影響をどのように分析しているのか。

森田知事 羽田空港において、来年3月末から国際線が3・9万回増枠することに伴い、一部航空会社が既存路線を成田空港から羽田空港に移行すると発表しています。

空港会社では、今回の羽田の国際線増枠について、成田空港に時的な影響は出るものの、中長期的には旺盛な首都圏の航空需要を満た

ため、発着回数は増加するものと分析しています。県としては、成田空港は本県の経済発展を図るための重要な核であることから、今後とも更なる機能強化の実現と、空港周辺の地域づくりに向けて四者で連携し

小池議員 「成田空港の更なる機能強化」に向けて、すでに多くの地権者が用地提供に同意いただき、また騒音の影響を受ける地域の方々も、「空港の発展なくして地域の発展なし」との思いで将来を見つめながら、その手続きを待っています。「仮称」実施プランの策定に向け、これまでの検討により見えてきた地域づくりの方向性はどのようなものか。

森田知事 「地域の発展」と「空港の発展」が好循環する地域づくりを実現していくためには、より多くの地域の人々が空港関連ビジネスで働き、空港と地域を支えていくことが必須であり、地域で人材をしっかりと確保していくことが、最も重要な要素であ

と再認識したところです。さらに、人材を確保するためには、周辺地域で住宅の確保や教育・子育ての充実などの生活環境の向上を優先的に進めることが必要だと考えています。

こうした考え方については、すでに空港周辺市町や国、空港会社との実務者会議において情報共有、意見交換を積極的に行っているところであり、本年度中のプランの策定に向け、各主体による施策の具体化を図るとともに、関係機関の間で連携調整を行っているところです。

要望 国の「羽田と成田の一体運用」という政策が推し進められた結果、成田空港の海外の主要都市を結ぶネットワーク

は、間違いなく毀損されました。結果的に成田空港では、格安航空会社LCCが比率を増して、羽田空港の国際線ネットワークが充実してきたという事実があります。

今、成田空港では、今後の新たな国際航空需要を担うために、先祖伝来の貴重な土地を手放す決意をし、また、新たに発生する航空機騒音を受忍してまでも「更なる機能強化」を支持しよう、そのように決断しています。

知事にはぜひ成田空港の地位低下をまねくことのないように、これは私たち空港周辺の住民だけでなく、千葉県すべての思い、そのような決意で臨んでいただきたいと強く求めています。

●県政と成田市に関するご相談・ご要望をお気軽にお寄せください。

小池まさあき 県議事務所

〒286-0025 成田市東町155-3 TEL 0476(22)0688

●メールもお気軽にご利用下さい。koike@ngy.3web.ne.jp

児童虐待防止対策 附帯決議案の趣旨説明に登壇



自席から要望を述べる小池県議

保護児童は増加傾向

小池議員 児童虐待防止対策について、本年1月に野田市で発生した痛ましい虐待死亡事件は、今なお私たち県民の心に深い悲しみとして消え去ることはありません。

自民党は、9月県議会で議員が条例案を自ら議案に提案する「議員発議案」として、「千葉県子どもを虐待から守る条例」の改正案を議案に提出し、賛成多数で可決・成立させました。
小池正昭県議は、この改正案を作成した自民党の児童虐待防止対策プロジェクトチームの副座長を務め、これまでも児童虐待に関し、全国を視察して効果的な対策などを調査・研究し

児相の一時保護所増設を要望

の進捗状況はどうか。
健康福祉部長 児童相談所の受け入れ児童数の拡大については、本年5月に公表した児童虐待防止緊急対策において、市川・柏・銚子・君津児童相談所の一時保護所の増設を行うこととしたところです。
しかしながら、一時保護児童が依然として増加傾向にあることから、これらに加え、来年7月頃に移転を予定している中央児童相談所を、引き続き一時保護所として活用することとし、9月補正予算案にその改修経費を計上しております。
市川・柏・君津児童相談所の一時保護所の増設については、現在、設計業務を委託しているところですが、委託契約の締結に当たっては、工事の施工者において、工期の短縮が可能となるよう求めているところです。
今後とも、増設時期を少しでも前倒しできるように、工事の完成に向け手続きを進めてまいります。

児相の支援システム

小池議員 児童相談所支援システムについて、現システムの課題に対してどのように対応していくのか。
健康福祉部長 児童相談対応件数が急激に増加する中、現行の児童相談所支援システムでは、面接や訪問、電話対応等に係る記録作成に多くの時間を要しており、職員業務負担は大変厳しい状況になっています。
また、経験の浅い職員が増加していることから、職

森林環境譲与税の活用

小池議員 全国各地で森林の荒廃が進んでいることから、国は森林整備に必要な財源を安定的に確保することとし、本年3月、森林環境税と森林環境譲与税を創設する法律を制定し、本年度から都道府県及び市町村に譲与税措置されることとなりましたが、都市部に配分される森林環境譲与税を、森林整備にどのように繋げていくのか。
農林水産部長 都市部では、森林環境譲与税を財源として、公共建築物の木造化や内装の木質化に県産木材を積極的に活用してもらい、森林資源の循環的な利用を促進することで、地域の森林整備に繋げていくことが望ましいと考えています。
このため県では、市町村に対し、公共建築物等の木材利用促進方針の策定に向けた支援や公共建築物等の内装の木質化に対する補助などを行うことにより、県産木材の利用拡大に努めているところです。

学校のICT整備

小池議員 本県の県立学校におけるICT環境整備の進捗状況はどうか。
澤川教育長 新学習指導要領では、情報活用能力が学習の基礎となる資質・能力と位置づけられ、ICTを用いた学習の充実が求められています。
平成30年度末に国が実施した情報化の実態調査において、本県の県立学校は指導用コンピュータ、超高速インターネット及び統合型校務支援システムの整備率において、国の目標を達成しています。一方で、無線LANの整備率は4・9%、プロジェクト等の大型提示装置の整備率は6・9%、教育用コンピュータは子供8人に対して1台となっており、目標を大きく下回っています。

本会議場での挨拶

小池議員 は、質疑に先立って本会議場でのあいさつで次のように述べました。
台風15号によって、千葉県は甚大な被害に見舞われ、未だ県民生活にさまざまな支障があり、不自由な生活を強いられています。各産業に多大な被害が及んでいるこの難局をいかに乗り切るか、

災害に強い森林の管理

小池議員 森林環境譲与税を活用して、災害に強

要望 子供たちの教育に直接関わることが、全国順位で最下位に近いという状況なので、予算をしっかりと確保して、前向きに取り組んでいただきたい。